



出動だ！世田米小学校消防団！

9/16 世田米小学校「消防車・救急車見学体験」
 9月の防災週間に合わせ、世田米小学校1～3年生の
 児童たちによる消防車・救急車見学体験が行われました。
 児童たちは、緊急車両の見学や消防士が実際の出動で
 着用する防火服の試着体験を通して、火事や事故の無い
 町を目指そうと心に誓っていました。

9月の主な内容

- P 2 住田町役場新庁舎落成
- P 8 平成26年度敬老の日特集
- P12 マナビイ通信
- P 6 五葉山神社四年祭
- P10 まちの話題『SUMITA うおっちゃんぐ』
- P13 地域住民活動情報

昭和33年2月には、世田米字川向96番地1に役場庁舎が新築移転されました。以後、平成26年までの56年の長きにわたり、私たち町民が歩んできた足あとを、



合併当時の役場庁舎（昭和30年）

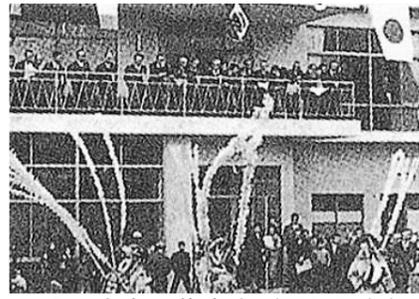
本町役場庁舎の歴史は、昭和30年4月に世田米町・下有住村・上有住村の一町二村合併により「住田町」が誕生したところから始まりました。当時は、世田米駅に役場庁舎を設置。多くの先人の方々が優れた知恵を出し合い、風土の中で培われてきた文化や伝統、自然を生かしながら、豊かで住みよい町づくりを進めてきました。

積み上げた歴史、紡いでいく思い

そんな中、平成23年に東日本大震災が発生。本来、防災の要となるはずの役場庁舎は、余震による倒壊の恐れで建物内に災害対策本部を設置できないなど、十分な機能を果たし得ない状況に陥ってしまいました。このような経過を踏まえ、

しかし、長い年月の間で行政需要が増大し、手狭となった庁舎が分散。また、建物の老朽化が進行したことから、町では平成5年度から新庁舎建設に向けての基金の積み立てを開始しました。

数々の想い出とともに刻み続けてきました。行政需要が増大し、手狭となった庁舎が分散。また、建物の老朽化が進行したことから、町では平成5年度から新庁舎建設に向けての基金の積み立てを開始しました。



旧役場庁舎の落成式（昭和33年）



旧役場庁舎の閉庁式（平成26年）

新庁舎の建設は急務の課題であるとして、町では平成24年3月に「役場庁舎建設基本計画」を策定し、建設事業に着手しました。そして本年9月2日、役場新庁舎の落成を迎えることができました。9月12日には旧役場庁舎玄関前で、旧役場庁舎の閉庁式が行われました。式には、町職員と職員OBら約200人が出席。館銘板への覆幕などを行いながら、56年間慣れ親しんだ庁舎への別れを惜しむとともに、先人たちが築いてきた歴史や思いを、新たな庁舎のもとに今後さらに後世へ引き継いでいくことを出席者全員で誓い合いました。

『38年間通い続けた役場庁舎の閉庁、懐かしさと寂しさの両方の気持ちが込み上げてきます』

私が役場に入ったのは昭和37年。以降、38年間通い続けた役場庁舎でしたので、閉庁の日を迎え、懐かしい気持ちと寂しい気持ちの両方が込み上げてきます。

当時はまだ、保健福祉センターなどの周辺施設が無く、業務を全て役場庁舎だけで行っていました。

その中で私も職員として、財政を担当した時には、数字とにらみ合っていたこと、農業を担当した時には冷害対策に奔走

したことなど、楽しかった日々、つらかった日々を昨日のことのように思い出します。

今、職員として働いている皆さんは、時代の変化とともに仕事も多種多様になり、私たちの時代より、本当に大変な毎日を過ごしていると思いますが、今回新たに建てられた、住田にふさわしい木造の役場庁舎とともに、これからは住民の皆さんのために、新たな気持ちで明るく親切に頑張りたいと思います。



住田町職員退職者の会会長 熊谷 敬一郎 さん (72歳・八日町)

人にやさしく親しまれる庁舎として—
環境にやさしく防災の要となる庁舎として—
“住田町らしさ”を発信する庁舎として—



特集 住田町役場新庁舎落成

町民が待ち望んだ役場新庁舎落成

9月2日、役場新庁舎の落成式典が新庁舎内町民ホールで挙行され、町や県内外の自治体、建設工事関係者ら約200人が出席しました。

式典で多田町長は、「森林・林業日本一の町を目指す本町のイメージに合った庁舎ができました。町民に広く利用され親しまれる庁舎になることを強く望むとともに、将来に夢と希望を持ち、健康で安心して心豊かに暮らせるまちづくりに取り組んでいきます」と式辞を述べました。

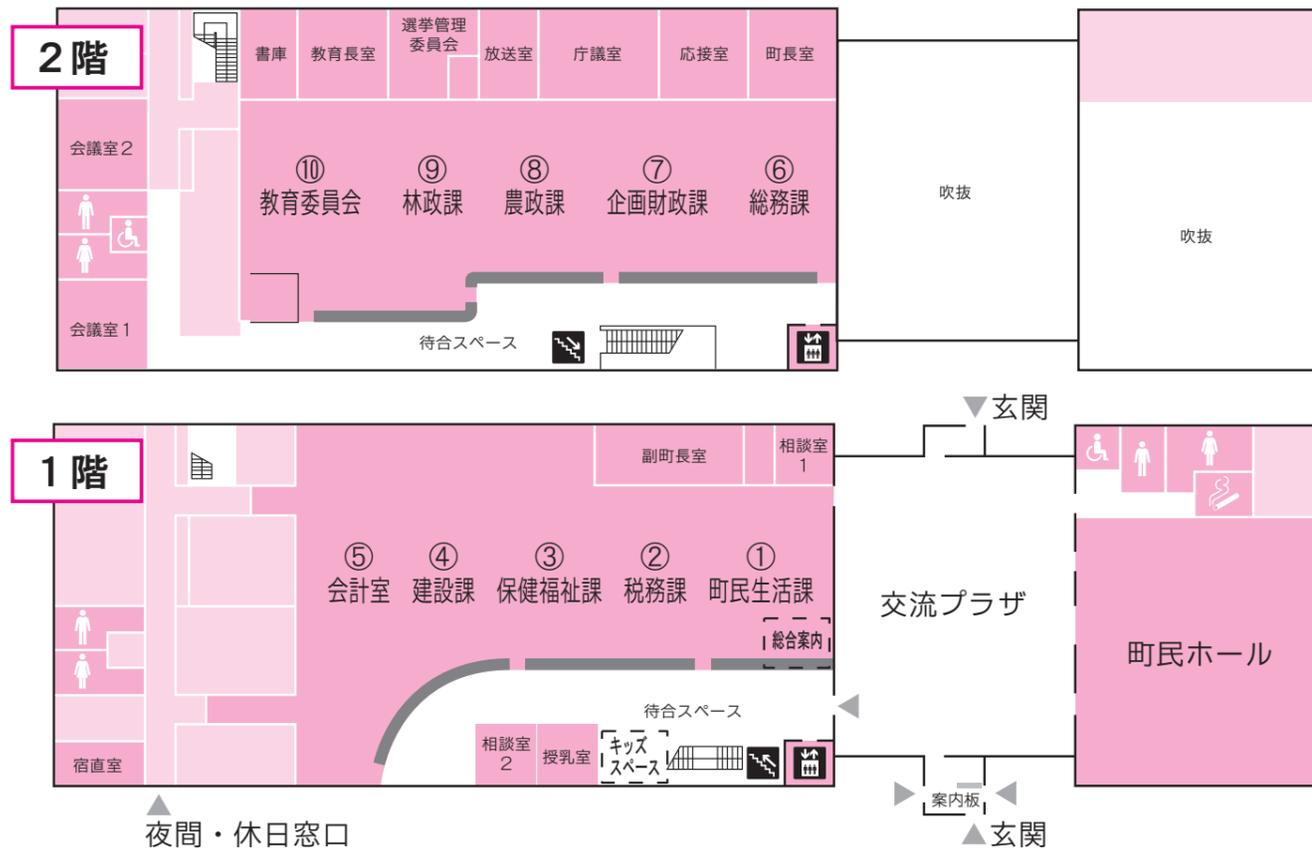
このほか式典では、事業経過報告、来賓祝辞、象徴木寄贈者や土地協力者などに対する感謝状贈呈が行われました。

その後、交流プラザに移動してくす玉開披を行い、多田町長や水野英哉町議会議長ら6人でロープを引いてくす玉を開き、出席者全員で新庁舎の落成を祝いました。役場新庁舎は、木造2階



協力者に感謝状が贈られた式典

建てで、敷地面積は7881平方メートル、建築面積は2419平方メートル、延べ床面積は2883平方メートル。事業費は12億4859万8800円。実用化としては国内初となるラチス耐力壁や、町民から寄贈された4本のスギの象徴木など、木造公施設のモデルとして、全国に本町の魅力を発信できるものになり上がりました。ここでは、待望の落成を迎えた役場新庁舎を、これまでの歴史や町民の思いとともに振り返りながら紹介していきます。



- 直通電話番号をご活用ください**
- 役場代表電話 ☎46-2111
 - ・総務課 ☎46-2112
 - ・町民生活課 ☎46-2113
 - ・企画財政課 ☎46-2114
 - ・建設課 ☎46-2115
 - ・農政課 ☎46-3861
 - ・保健福祉課 ☎46-3862
 - ・地域包括支援センター ☎46-2424
 - ・教育委員会事務局 ☎46-3863
 - ・林政課 ☎46-3868
 - ・農業委員会 ☎46-3869
 - ・税務課 ☎46-3870
 - ・議会事務局 ☎46-3754

「ここに生まれて良かった」

先人の方々の思いを受け継ぎながら、町民の皆さんが「ここに生まれて良かった」

守り続けていきます。

さらには、「住田町らしさを発信する庁舎」として、

「ここに生まれて良かった」



開庁を迎えた住田町役場新庁舎

「森林・林業日本一を目指す町・住田町」を町内外にアピールする存在として、その雄大な姿で来庁者を迎えます。

町と町民の悲願であった役場新庁舎は、町民の声や思いが一つの形となった、まさに本町のイメージを現す建物として、今ここに落成の日を迎えました。

と誇りに感じてもらえるよう、新しい庁舎のもとで町づくりを進めていきます。

平成26年9月16日、住田町役場新庁舎は開庁日を迎え、本町のまた新たな歴史を刻み始めました。

町民に広く愛される役場を目指し



新庁舎建設住民検討委員会会長 高橋 高志 さん (69歳・世田米駅)

私たちの意見や要望にも配慮していただきながら、木造のぬくもりが感じられる、まさに住田町にぴったりの役場庁舎が完成したと喜んでるところです。

あとは、この立派な庁舎にいかにか魂を込めていくかが大事だと思いますので、町民一丸となってこれから頑張っていきたいと思います。

全国的にも珍しい大型の木造公共施設として完成した役場庁舎ですが、建設にあたっては町民が利用しやすい役場庁舎とすることを目指しました。

平成24年6月、住民の意見と提案を反映させるための新庁舎建設住民検討委員会（高橋高志会長）を設置。同委員会は、町内の公共的団体の代表者や一般公募により選任された町民ら16人で組織され、4回にわたり検討を重ねてきました。

会議の中で委員からは、「町産材を活用して森林林業日本一の町をアピールで



新庁舎建設住民検討委員会の様子

「高齢者や障がい者などに配慮した構造にしてほしい」など、実際に町民として利用する立場からの視点や、町民として全国に誇れる庁舎にしたいという、故

町民の願い、一つの「カタチ」に

郷への強い思いがあふれるもので、さまざまな意見が出されました。

町では、委員から出された意見をもとに新庁舎の構造を決定。利用者にとって使いやすい施設となるようワンストップサービスを導入し、周辺施設に分散していた課と業務を集約しました。

このほか、住民交流の場として交流プラザを設置。イベント開催や各種展示など、町民の皆さんにもさまざまな情報発信に活用してもらえよう整備しました。

また、交流プラザ内には町民から寄贈していただいた樹齢100年以上のスギの象徴木を4本設置しました。

『役場新庁舎の象徴木として 来庁者の皆さんを温かく見守ってくださいます』

先祖代々から受け継いできた木を、役場新庁舎の象徴木としてこのように立派に置いていただき大変光栄です。

今回の寄贈は、2年前、役場が新しく建てる庁舎の象徴木にする大木を探していると聞いたのがきっかけでした。

寄贈させていただいた木は、わが子のように山の中で大切に大切に…というよりも、手をかけずとも一人で立派にたくましく育っていた木でした。ですが、あまりにも立派に育ち過

ぎていたのでは、私も何か良い活用ができないものかと考えていました。

そこで、象徴木のお話を聞いた時、これなら住田町の木の歴史も伝えられるし、先祖も喜んでくれるだろうと思い、快く寄贈させていただきました。

これからは、この新庁舎の象徴木として、たくさんのお客さんや役場職員の皆さんを温かく見守る役目を立派に果たしてくださいます。私もたまに会いに来たいと思います。



象徴木寄贈者※ 大和田 國清 さん (79歳・田ノ上)

※ 紺野忠行さん（奥新切）、鈴木正巳さん（火の土）からも寄贈いただきました。ありがとうございました。



①巡幸を開始する五葉山神社御神輿②花飾りを手に鮮やかな手踊り(両向)③迫力ある舞を見せた大権現(天嶽)④躍動感あふれる花取踊り(恵山)⑤世代を超えた念仏剣舞を披露(五葉)⑥華やかな着物姿で観客を魅了(坂本)⑦見事に息の揃った手踊り(八日町)

⑦

(7) 平成26年9月26日 広報すみた



五葉山神社四年祭



五葉山神社総代
紺野 寿美 さん
(78歳・中卒)

総代長の代理として先導の大役を務めさせていただきましたが、事故なく終わることができ、関係者一同大変喜んでます。

今回のお祭りは、震災以降、初めてでしたので、地域振興とともに被災地の一日も早い復興への願いを込めさせていただきました。

9月21日、東日本大震災発生後初となる「五葉山神社四年祭」が八日町商店街で開催され、華やかな山車を並べた五葉、天嶽、八日町、恵山、坂本、両向の6地区の住民らが手踊りや郷土芸能などを披露し、沿道に詰めかけた多数の来場者から大きな声援を受けました。

祭式は、午前10時から同神社の里宮が置かれている八日町の八幡神社の拜殿で執り行われました。

そして祭式終了後、五葉山神社と八幡神社の御神輿が八日町商店街に繰り出していきました。

巡幸の行列は、五葉山神社権現を先頭に、五葉山火

縄銃鉄砲隊や八幡神社権現里宮大権現などが加わり、坂本太神楽、五葉念仏剣舞、両向手踊り、恵山花取踊り、八日町手踊りが続きました。

参加者らは、五穀豊穣に感謝し家内安全を祈願しながら、4年に一度のお祭りを心ゆくまで楽しんでいました。



▲行列を作り巡幸する参加者ら

広報すみた 平成26年9月26日 (6)

これからも元気に生き生きと！

長い間、社会に尽力されてきたお年寄りを敬い、長寿をお祝いする日として、9月の第3月曜日は「敬老の日」として定められました。

町内各地でも、9月14日を中心にご自治公民館などが主催する敬老会が行われ、子どもたちや地元婦人部の踊りなど、工夫を凝らした余興などで、長寿のお祝いに花を添えました。

◆100歳以上の割合は

本町が県内で一番！

平成26年8月31日現在、町内の人口は、6062人(男2954人、女3108人)です。そのうち、65歳以上の人口は、2391人(男975人、女1416人)で、高齢化率は39.4%(前年比+0.4%)となっています。

また、敬老の日にあわせて県が発表した「市町村別100歳以上長寿者の状況」によると、本町の総人口に対する100歳以上の

方の割合は0.20%(49人に1人)で、県内最高を記録しています。

長年にわたり社会に貢献してきたお年寄りたちの知恵や経験は、地域を支える原動力として、これからの町づくりに欠かせません。

これからも、ますますお元気にお過ごしください。

祝！ご長寿 町内100歳以上の皆さん

- 紺野 トメ さん(103歳) 和野
- 佐々木 福石工門 さん(103歳) 赤畑
- 佐々木 シカノ さん(103歳) 赤畑
- 菊池 タマヨ さん(102歳) 葉山
- 菅野 ミツ さん(102歳) 清水沢
- 佐藤 いさ さん(101歳) 大渡
- 菊池 テツヨ さん(101歳) 下柏里
- 吉田 サツキ さん(101歳) 十文字
- 吉田 イツ さん(101歳) 赤畑
- 佐藤 ミサヲ さん(100歳) 赤畑
- 金野 オエキ さん(100歳) 赤畑
- 佐藤 マツノ さん(100歳) 和野

※平成26年8月31日時点



▲長寿を祝った敬老会(大股地区公民館)



大森 榮吉 さん(90歳) (世田米字清水沢)

「目標をいつも持ってこそその人生。今後も好スコア目指して頑張ります」

「毎週日曜日が練習日で、仲間と雑談をしながらグラウンドゴルフを楽しんでいます」と、笑顔を見せたのは、世田米字清水沢の大森 榮吉さんです。今年90歳を迎えた榮吉さんの趣味はグラウンドゴルフ。70歳過ぎまで大工として働いたあと、周りからの勧誘もあつて参加するようになりました。そこから約20年間、好スコアを目指しクラブを振り続ける日々を過ごしています。グラウンドゴルフの魅力について、「ホールインワンが続く日もあれば、全くス

異団体交流会レポート

役場新庁舎見学会で展示発表

住民活動を積極的にPRしました

■新庁舎見学会の来訪者

その数783人！

9月7日、見学希望者を対象とする役場新庁舎の見学会が行われ、住民活動団体を紹介するパンフレットやパネル展示、読み聞かせや音楽演奏などの活動発表を新庁舎内交流プラザで行いました。

この日の見学会には、子どもからお年寄りまで783人が来場。交流プラザにも、展示された各団体の活動内容を紹介するパネルを眺めたり、あわせて置かれたチラシを手取る人の姿が多く見られました。

■盛り上がった活動発表

今後の活動へ弾み

午前10時からは活動発表として、図書環境コーディネーター「ま〜ぶる」が住田いいとこカルタ大会、読み聞かせグループ「どんどこ」が読み聞かせ、音楽サークル「音蔵」が音楽演奏をそれぞれ行いました。



▲紙芝居に夢中の子どもたち

住民活動団体 DATA FILE ④



住田いいとこカルタ大会

図書環境コーディネーター ま〜ぶる (平成23年設立・会員数5人)

○団体を紹介してくださる方

代表 松田 千秋 さん (54歳・世田米字世田米駅)

『図書の堅苦しいイメージを和らげ、身近に感じてもらうよう頑張ります』

Q. 団体の活動目的を教えてください。

もともと中央公民館図書室を整理するボランティア活動をしていますが、もっと図書室を盛り上げ、より多くの人に本を読んでもほしいという思いから団体を設置しました。

Q. 主な活動内容を教えてください。

主に図書室の整理や企画展示を行っています。このほか、子どもからお年寄りまで幅広い世代に図書に親しんでもらうために

Q. 現在、抱えている課題はありますか？

いろいろな挑戦してみた企画はありますが、会員の確保が難しくなかなか実現できない状況ですので、各種イベントで私たちの活動をPRしながら、一緒に活動してくれる仲間を探していきたいと思っています。

Q. 今後の活動の方向性を聞かせてください。

町内には、私たちと同じく図書活動に熱心に取り組む中高生がいます。しかし、体育会系と違って順位が付かない文化系は成果が見えにくく、なかなか努力が報われないのが現状です。そこで、私たちがその子たちの活動できる場を作りたいと考えているところです。また、町内外の団体や詩人の方などつながりを形成しながら、堅苦しいイメージがある図書を、多くの人に身近に感じてもらうよう活動していきます。

Q. 最後にPRをどうぞ。

まずは図書室に一度訪れてほしいです。本は自分の世界を広げてくれます。私たちも、図書室を訪れる皆さんがゆったりと本と触れ合える環境を作っていきたいと思っています。

また、私たちが作ったカルタやすごろくなどは貸し出しが可能ですので、地域や親子行事の際に交流を深めるツールとして、ぜひご活用ください。



▲最優秀賞を獲得した世田米中総合文化部

このたび、世田米中学校（松高正俊校長）の総合文化部が愛知県名古屋市で行われた「平成26年全国子供大正琴コンクール」のビデオ参加部門で3年ぶり2度目となる最優秀賞を獲得しました。

このコンクールは、一般社団法人大正琴協会（海部俊樹理事長）が主催し、4部門で構成されています。このうち、同校が参加したビデオ参加部門（12歳を超えるアンサンブルグループ①）には全国各地から10チームが参加しました。

今回、同校が演奏したのは「クシコスの郵便馬車」という師範の試験

全国子供大正琴コンクールビデオ部門で
世田米中総合文化部が最優秀賞を獲得



▲息の合った演奏を披露する部員たち

曲にも用いられる難易度の高い曲でしたが、演奏に参加した3年の高橋改門さん、遠藤昌晃さん、2年の水野桃花さん、菅野優華さん、橋本明香里さん、横沢亜美さん、千葉範さん、高橋采生さんの8人は、音の強弱に気をつけながら、息の合った見事な演奏を披露。今回の喜びの受賞につながりました。

部長として部員を引っ張ってきいた高橋改門さんは、「録画したとき最初は緊張しましたが、演奏しているうちに楽しくなりました。最優秀賞が獲れてとてもうれいす」と笑顔を見せていました。



▲力投を見せた主将の及川瑠依選手

9月6日、町運動公園で第67回秋季東北地区高校野球県大会沿岸南地区予選の第1代表決定戦が行われ、住田高校が大船渡高校に勝利し、今月25日から行われる県大会への切符を勝ち取りました。

試合は、住田高校が初回に1番・近江幸大選手、2番・吉田健太選手の連打で好機を作ると、主将の3番・及川瑠依選手の中前適時打で1点を先制。さらにこの回、併殺打の間に1点を追加しました。

3回にも4番・小野田未樹線選手の中前適時打で1点を追加し、住田高校は序盤で3-0と試合の主導

強いぞ！我らが住田高校野球部！
第1代表決定戦を制し県大会出場へ！



▲応援団の祝福に応える選手たち

権を握ります。

投げては、先発の及川選手が変化球を低めに集める丁寧な投球で、大船渡高校に絞らせません。

中盤、意地を見せる大船渡高校の反撃で2点を失いますが、住田高校は慌てることはありませんでした。

試合終盤、毎回走者を背負いながらも何とか大船渡高校の猛攻をしのぎきり、そのまま試合終了。3-2で見事住田高校が勝利しました。

主将の及川選手は、「県大会では第1代表として恥じないプレーを見せます。そして、この勢いで甲子園を目指します」と、今後のさらなる活躍を誓っていました。

9月10日、県立住田高校（遠藤加奈子校長）主催による地域文化選択講座が町内各地で行われ、町内中学生104人が参加しました。

このうち、保健福祉センターでは「郷土料理講座」が行われ、講師の町食生活改善協議会（高橋美穂子会長）の皆さんの指導のもと、郷土のお菓子「かまもち」作りに挑戦しました。

生徒らは、講師の手際よく調理する様子に感心しながらも、分担しながら作業を進め、美味しい香りが漂う「かまもち」を完成させました。

紺野巧光さん（住田高2年）は、「初めて食べましたが、とてもおいしかったです。このお菓子を昔から作っていた人はすごいです」と感心した様子で話していました。

地域文化選択講座開講
郷土に伝わる文化を学ぶ



▲講師とともに「かまもち」作りに挑戦

山梨県丹波山村の継続支援
仮設団地へじゃがいも寄贈



▲たくさんじゃがいもが届けられました

9月1日、本町と「災害時における相互応援に関する協定」を締結している山梨県丹波山村の皆さんが来町し、町内の3仮設住宅団地へじゃがいもの寄贈を行いました。

被災地の後方支援を行う本町の取り組みを支援する同村のじゃがいも寄贈は今年で4年目を迎え、この日も岡部政幸村長ら8人が来町。町内の仮設住宅団地を訪問し、住民にキタアカリなど3種類のじゃがいもやブドウなどを手渡していました。

たくさんのじゃがいもの寄贈を受けた火石団地の平野茂自治会長は、「毎年、遠方からお越しいただいての支援。本当にありがとうございます」と、心からの感謝の気持ちを口にしていました。



▲スギの植林費用が寄付されました

9月3日、大東建託（熊切直美代表取締役社長執行役員）から本町に対し、スギ341本分の植林費用が寄付されました。

これは、同社が環境保全活動として企画したライトダウン運動（夏至と七夕の2日間、午後8時から2時間間、わたり消灯を呼びかけ節電に努める運動）で削減された電気を、スギの二酸化炭素吸収量に換算し、植林や育成費用に役立ててもらおうと実現したものです。

同社の稲田昭夫取締役専務執行役員から寄付金を受け取った多田町長は、「町として運動に協力できることは大変光栄。植樹から木を切るまでの50年間、責任を持ってしっかりと育てていきたい」と述べました。

スギの植林費用として
大東建託が本町へ寄付金



▲上位を目指して走る各校の選手たち

8月23日、気仙地区中学校駅伝競走大会が世田米の運動公園野球場周回コースで行われ、有住中学校（菊池福盛校長）が男子・女子の部それぞれで2位に入り、10月3日に花巻市で行われる県中学校駅伝競走大会への出場権を獲得しました。

大会には本町から出場した有住中学校、世田米中学校（松高正俊校長）を含む気仙各地から14校が参加。今年にはシード校がなく、上位に入賞した男女各2チームずつに県大会への地区代表権が与えられます。

競技は女子の部、男子の部の順で行われ、出場した選手は次の区間で待つ仲間のもとへ、必死にたすきをつなぐと力走を見せていました。

有住中男女が県大会へ
気仙地区中学校駅伝大会



生涯学習に関する情報コーナー 住田町教育委員会
すみなまネット通信

開幕!! 第38回住田町成人バレーボールナイターリーグ

町教育委員会では、本年も成人バレーボールナイターリーグを、次のとおり開催します。

【期間】

①予選リーグ 10月21日(火)～11月28日(金)
 19時～21時
 ※毎週火・金曜日開催

【会場】

町生涯スポーツセンター
 11月30日(日) 8時45分～

【対象】

各自治公民館を単位とし、1自治公民館からの出場は1チームとします。選手登録は何名でもできます。

【参加資格】

町内に在住する30歳以上の男子(女子であれば25歳)

以上)で、年齢構成は次のとおりとします。

- ① 45歳以上：1名
- ② 40歳以上：2名
- ③ 35歳以上：3名
- ④ 30歳以上：3名

コート上に出場できるのは9名で、このうち45歳以上1名と40歳以上2名の男子は必ず出場してください。

【参加料】

1チーム 3千円

【その他】

各チームは、必ず保険に加入してください(公民館保険で可)。

なお、本競技は平成27年度すみなまスポーツラリーの対象競技大会となります。奮ってご参加ください。

【問い合わせ】

教育委員会生涯学習係
 ☎46-3863

住田町役場新庁舎落成記念事業 住田町文化・産業まつりを開催します

■展示部門

10月24日(金)～26日(日) 9時～16時
 ※最終日は15時まで

- ▽農林会館、社会体育館・絵画や書道、工芸品などの展示、茶道
- ▽農林会館多目的ホール
- ▽御所湖川村美術館移動美術館
- ▽役場新庁舎町民ホール
- ・「登米伊達黎明展」

■舞台発表

①文化発表会 10月24日(金) 9時～12時
 13時30分～15時30分
 10月25日(土) 13時30分～15時30分

■特別講演会

▽農林会館大ホール
 ・「平泉文化と世界遺産」
 県埋蔵文化財センター 部長 中村 英俊氏

■芸能まつり

10月26日(日) 10時～14時
 農林会館大ホール

・町民による舞踊や民謡、郷土芸能の発表

■産業まつり

10月26日(日) 9時～15時

▽農林会館前
 ・餅まき、農産物などの販売、各種アトラクション
 ★問い合わせ 教育委員会生涯学習係 ☎46-3863

■出品作品募集について

文化産業まつりの文化展に出品される方は、次のとおり申し込みください。

■申込先

地区公民館長、自治公民館長、各団体の代表者

■締め切り

10月15日(水) 17時

■その他

販売を希望される方は、販売価格も記入願います。

■搬入日時

10月23日(木) 9時～17時

一般展示：社会体育館
 手芸、生け花：農林会館

■搬出日時

10月26日(日) 15時～

地域住民活動情報

世田米探検隊 神秘の世界に遭遇

■せたまい まちづくり委員会

9月21日、「せたまい発見ウォーキング」が開催されました。

この活動は、地域に眠る「宝」を発見し、大切な資源を未来の子どもたちに伝えていこうと、せたまい町づくり委員会が企画したもので、この日は町民や同委員会会員ら12人が参加しました。



▲名前のとおり猫を祀った「猫淵神社」



▲神秘の洞くつ「鬼丸洞くつ」

参加者らは、町観光協会佐々木康行さんの案内のもと、世田米字合地沢地内にある「鬼丸洞くつ」と「猫淵神社」を巡りました。このうち、「鬼丸洞くつ」は道中も険しく、周囲に案内板などもないため、まさに「穴場」と呼ぶにふさわしい場所でした。参加者らは、大きな口を開けた洞くつの姿に驚きながら、目前に広がる神秘的な光景に時間を忘れて見られていました。

COOP いわて生協です!
 個人宅配 0120-263-957 (通話料無料)
 いわて生協せん支部 大船渡市盛町字馬場23-5

プロパンガス・水道・合併浄化槽
多田商店
 住田町世田米字世田米駅1 ☎46-2022 FAX46-2007

あなたの町のくるま屋さん
ササキ自動車工業(有) ☎46-2041

櫻井医院
 院長 櫻井末男
 住田町上有住字八日町177 ☎48-2110

土砂災害の危険個所の確認を!

全国各地で土砂災害が発生しています。自宅などが危険箇所かどうかをあらかじめ確認し、自身や家族の身を守る行動をしましょう。なお、土砂災害の危険箇所は、各世帯に配布してあるハザードマップ、または岩手県のホームページで確認することができますのでご覧ください。※ハザードマップは、各自治公民館・消防屯所にも掲示しています。○岩手県ホームページ <http://www.pref.iwate.jp/kasensabou/sabou/008544.html>
★問い合わせ 総務課防災係 ☎46-2112 (内線212)

農林業センサスの調査員を募集します

農林水産省による統計調査「2015年農林業センサス」が、平成27年2月1日に全国一斉に実施されます。本町では、調査員としてお手伝いいただける方を募集します。
★調査活動期間 平成27年1月～3月
★応募要件
・町内に居住する20歳以上の健康な方
・責任をもって調査事務を遂行できる方
・選挙に直接関係のない方
★応募締め切り 平成26年10月20日(月)
★問い合わせ 企画財政課企画係 ☎46-2114 (内線225)

10月1日から7日は「公証週間」です

日本公証人連合会では、国民の皆さんに公証制度について理解を深めてもらうため、10月1日から7日までを公証週間と設定しています。この週間に合わせ、花巻公証役場では、公証相談会を開催します。相談は無料ですので、お気軽にご相談ください。
★相談会日時 10月1日(水)～7日(火) 10:00～16:00
※4日(土)、5日(日)は、事前の予約が必要です。
★開催場所 花巻公証役場(花巻商工会議所3階)
★問い合わせ 花巻公証役場 ☎0198-23-2002

インフルエンザ予防接種のお知らせ

本年度のインフルエンザ予防接種の助成は、65歳以上の方と生後6カ月から中学3年生までとなります(対象となる方には個別に通知を行います)。予防接種を希望される方は、各医療機関に詳細を確認の上、ご予約をお願いします。なお、13歳未満の方は、接種回数が2回となります。
★問い合わせ 保健福祉課健康推進係 ☎46-3862(内線134)

行政相談所を開設します

10月20日から26日までは、秋の行政相談週間です。行政相談は、国、県、市町村などの仕事やサービスに関する苦情や要望などの相談を受け付けます。相談は無料で秘密も守られますので、お気軽にご相談ください。
★相談所開設日時・場所 10月26日(日) 町農林会館内 10:00～12:00
※なお、当日は町役場敷地内で「住田町産業まつり」が開催されます。今回の行政相談所は、その開催に合わせて開設するものです。
★相談者 行政相談委員 佐々木 美保子氏(蓬畑)
★問い合わせ 総務課行政係 ☎46-2112 (内線214)

秋の農作業安全月間のお知らせ

9月15日から11月15日までは、秋の農作業安全月間です。秋の農繁期は、農業機械による作業が増えるとともに、日没が早まることで農作業事故の危険性が高くなる時期です。夕暮れ時、道路を農業機械で走行する際は夜光反射材を付けるなど対策を行い、ゆとりのある計画的な農作業を心がけ、事故を未然に防ぎましょう。
★問い合わせ 農政課農業振興係 ☎46-3861 (内線233)

食品事業者表示適正化技術講座の開催

東北農政局奥州地域センターでは、消費者から信頼される食品表示の実現に向けて、食品の製造業者、流通業者の方を対象とする講座を開催します。
★日時 11月6日(木) 13:30～16:00 (13:00受付開始)
★講座内容
①日本の食品表示制度の概要
②食品表示の適正化に向けた改善のチェックポイント
③適正実施に向けた取り組みの重要性
★定員 30名(先着順)
★参加料 無料
★申し込み方法 インターネットの申し込みフォームから申し込みください。参加不可能な場合のみ、ご連絡します。
★問い合わせ 東北農政局奥州地域センター ☎0197-25-3912

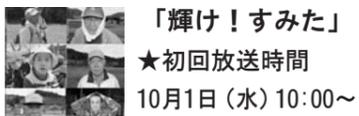
国道397号『津付道路』が開通します

平成17年度より事業を進めてきた国道397号『津付道路(約2.7km区間)』が開通日を迎えます。『津付道路』は、東日本大震災津波により被災した沿岸地域の一日も早い復興に貢献するとともに、産業・経済・観光・地域振興など、さまざまな分野において、その役割が大きく期待されます。
★一般開放日時 10月26日(日) 15:00～
★問い合わせ 県津付ダム建設事務所 ☎22-8182

五葉山麓 秋の森林浴の開催

三陸中部森林管理署では、秋の五葉山散策を開催し、国有林で実施している森林整備の取り組みなどを紹介します。
★日時 10月18日(土) 9:00～15:30
★集合場所
①9:00 森林管理署前
②9:30 住田町役場前 ※貸切バスで移動します。
★定員 20名(先着順・保険料100円)
★持ち物 昼食、飲み物、雨具 ※散策のできる服装と靴でご参加ください。
★申し込み期限 10月10日(金)
★申し込み・問い合わせ 三陸中部森林管理署 ☎26-2161

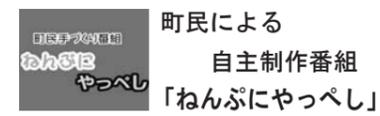
10月の放送プログラムのお知らせ



★初回放送時間 10月1日(水) 10:00～
※その他の放送日、時間は電子番組表をご覧ください。
★「五葉山火縄銃鉄砲隊にスポット」
・魂の演武を町内外で披露する、現世によみがえりし鉄砲隊の魅力をお伝えします。



★初回放送時間 10月1日(水) 12:30～
※その他の放送日、時間は電子番組表をご覧ください。
★「新庁舎の利用方法について」
・新たに生まれ変わった町役場庁舎内の配置状況や利用方法などについて、わかりやすくご紹介します。



★初回放送時間 10月1日(水) 15:00～
※以降、毎日15:00～と19:30～に放送します(土曜日のみ15:00～の放送はありません)。
★10月の「ねんぶにやっべし」は、特別番組として「突撃取材! 住田町夏まつり」をお届けします。

※「電子番組表」の使用方法について 住田テレビの番組表を見たい時は、テレビのリモコンの「番組表(EPG)」ボタンを押してください。放送時間などが確認できます。

★問い合わせ 住田テレビ ☎47-3112

住田のすまい

住田住宅産業(株) ☎46-2465

岩手県住田町産 ありすぽーく 生産農場

有ありす畜産

TEL0192(48)2019

R107 ありす畜産直売所 TEL0192(46)2286

相続、売買による不動産の名義変更 担保権の抹消・不動産登記

有岡司法書士事務所 司法書士 有岡 智昭

登記に関する相談はいつでもお受けします。電話で予約をお願いします。(土日可)

☎0192-47-4578

世田米字世田米駅113(クロネコヤマトさん向かい)

省エネ家電のことなら当店へ。お気軽にご相談ください。

クマガイ電化サービス

住田町上有住字八日町82 ☎48-2255 携帯 090-2845-1444

